

緊急事態宣言の期間延長に伴う横浜市の対応について

緊急事態宣言の期間延長に伴い、本日、横浜市新型コロナウイルス対策本部運営チーム会議を開催し、横浜市は、9月12日まで次のとおり対応することを決定しました。

なお、**市民利用施設の利用予約の新規受付については、当面の間停止します。**

【市民利用施設の利用時間等】

- 利用時間の短縮等
原則 20 時まで（ただしイベント開催時は 21 時まで）
- 酒類提供
終日完全停止（持込み含む）
- キャンセル料等
措置期間中の上記時間をまたぐ利用枠の予約について、取消を申し出たものについては、キャンセル料を徴収せず、利用料等を返還します。
- 徹底的な感染対策
一般的な感染対策に加え、施設内外に混雑が生じることがないように、人数管理、人数制限、誘導等の入場整理を再徹底します。
- 会食自粛等の注意喚起
利用者に対し、利用前後の会食自粛など、リスクの高い行為への注意喚起をします。

【市主催のイベントの人数制限等】

- 人数上限：5,000 人かつ収容率 50%以内
- 開催時間：原則 21 時まで
- 酒類提供：終日完全停止（持込み含む）
- イベント前後の会食自粛を周知します。
- 施設内外に混雑が生じることがないように、人数管理、人数制限、誘導等の入場整理を再徹底します。

林 文子 横浜市長コメント

このたび、政府は、神奈川県に発出していた緊急事態宣言の期間を、9月12日まで延長することを決定しました。

今、かつてない強い感染の波が押し寄せています。

8月の新規感染者数は、昨日時点で12,467人となり、昨年1年間の累計感染者数10,157人を大きく上回っています。横浜市内で確保している病床586床の稼働率は、現在、すでに8割を超えています。

横浜市は、感染症・医療調整本部「Y-CERT」内に特別対策チームを編成し、入院・転院や搬送の調整に全力であたっています。しかし、現在の感染拡大による入院患者数や救急搬送件数の急増は、横浜市の医療提供体制に重大な支障を与える、大変深刻な状況です。

私たちは、これ以上の感染拡大を何としても食い止めなければなりません。

横浜市は、感染症医療と、救急やがんなどに対する医療を両立させ、医療提供体制を維持するため、現在、陽性患者さんの病床の拡充に力を尽くしています。

救える命を守るために、そしてご自身や大切なご家族、ご友人を守るためにも、市民の皆様に改めてお願いします。

手洗い・うがい・マスク着用など、基本的な感染防止対策を徹底してください。これまで以上に、不要不急の外出を避け、混雑した場所等への外出を減らすことで、できるだけ人との接触の機会を減らしてください。

感染拡大防止のため、横浜市は、市民利用施設の利用予約の新規受付を、当面の間、停止します。市民の皆様のご協力をお願いいたします。

横浜市は、今後とも、国や県、医療機関の皆様と連携し、あらゆる感染防止対策を徹底し、市民の皆様の命と暮らしをお守りしてまいります。

お問合せ先

総務局緊急対策課長

木村 正夫

Tel 045-671-2170